

スチールユニットシェルフ帆布バスケットセット・幅56cmタイプ・ライトグレー
スチールユニットシェルフ帆布バスケットセット・幅42cmタイプ・ライトグレー
スチールユニットシェルフ帆布バスケットセット・幅28cmタイプ・ライトグレー

組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	1 ～ 2
パーツリスト	3
各部の名称	3
組立方法	4 ～ 8
ご使用方法	9 ～ 10
お手入れ方法	10
製品仕様	11
お問い合わせ先	11

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。



警告



禁止

- お子さまが製品にぶら下がったり、登ったりさせないでください。製品の転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
- 上部のみに片寄って収納しないでください。バランスをくずし不安定になりやすく、製品が転倒してケガをするおそれがあります。
- 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。
- フィッティングパーツは小さな部品です。幼児の手の届くところに置かないでください。また、紛失しないでください。誤飲した場合、窒息などのおそれがあります。



注意



禁止

- 組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分がはずれてケガの原因となるおそれがあります。
- 本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。
- 耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損によりケガをするおそれがあります。
- 修理および改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。
- 屋外では使用しないでください。変形や劣化によりケガをする原因となります。
- バスケットの開閉の際は、指や手をはさまないでください。ケガをする原因となります。
- ボルトのゆるみがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたら締め直してください。そのまま使用すると、破損、ケガの原因となります。
- 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用するとケガをする原因となります。

⚠ 注意 (つづき)	
 禁止	● 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人では製品破損や製品落下などによりケガをする原因となります。 ● 移動する際は収納物を取り除いてから、2人以上で移動させてください。1人で引きずったりするなど無理に移動させるとケガや製品が破損する原因となります。
 行う	● 引越しなどで移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。パーツがはずれて、ケガや製品が破損する原因となります。 ● 部屋の換気は定期的に行ってください。特に下記の条件ではカビやダニが生じやすく健康を害するおそれがあります。 ・ 湿度の高い季節 ・ 冬季など外気が冷たく、室内温度との差により結露が生じる場合 ・ 過度な加湿器の使用 ● 引出内部の湿気対策を行ってください。収納部は湿気がこもりやすくなりますので、市販の除湿剤（湿気取り用）などを使用してください。また定期的な換気をおこなってください。 ● 使い始めの時は、室内の換気を十分に行ってください。木質材料に含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などはアレルギー症状を起こすことがあります。特に乳幼児の衣類などを収納する場合は、プラスチック袋などに入れたまま収納してください。

お願い (その他 注意)	
	● 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品がゆがんだり、破損の原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は、シンナーなどの有機溶剤を含んだ布でふかないでください。変色や変形の原因となります。 ● 梱包材は、開封後に自治体のルールに基づき、正しく廃棄してください。 ● 製品は素材特有のにおいがあります。においが移りやすいので、衣類などを収納する場合は、プラスチック袋に入れて収納することをおすすめします。

パーツリスト

幅56cmタイプ

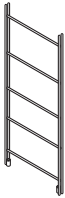
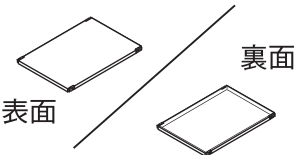
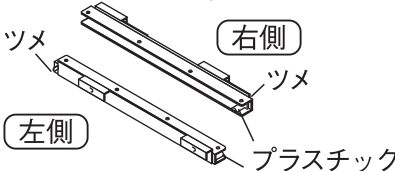
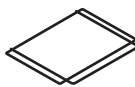
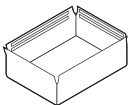
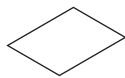
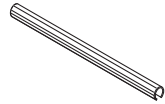
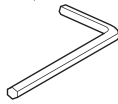
幅42cmタイプ

幅28cmタイプ

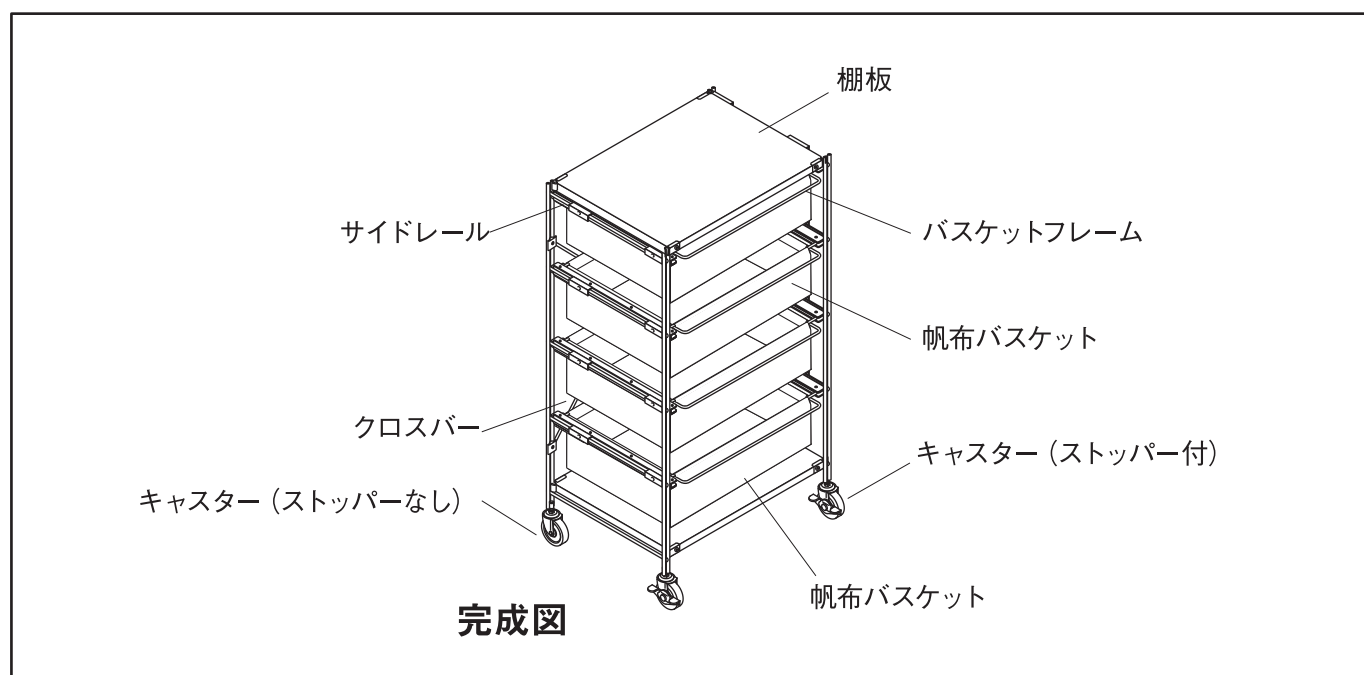
共通

※イラストには、幅56cmタイプを使用しています。

※ドライバーは付属されていません。適切なサイズのプラスドライバーをご用意ください。
(ドライバーの先端が大きすぎたり、小さすぎると組み立てが難しい場合があります。)

④ 帆立×2 	⑤ 棚板 (スチール棚) ×2 	⑥ サイドレール 右側×4 左側×4 	⑦ キャスター (ストッパー付) ×2 	
⑧ キャスター (ストッパーなし) ×2 	⑨ クロスバー×2 	⑩ バasketフレーム ×4 	⑪ 帆布Basket ×4 	⑫ 底板×4 
フィッティングパーツ				
⑬ ボルト (クロスバー中心用) ×1 	⑭ 袋ナット (クロスバー中心用) ×1 	⑮ ボルト ×4 	⑯ 座金×4 	
⑰ スライド用チューブ ×8 	⑱ ストッパーピン ×16 	⑲ スパナ×1 	⑳ 六角レンチ×1 (4 mm) 	㉑ 跳ね上げ防止ボルト ×16  ※⑥ サイドレールに取り付けてあります。

各部の名称



組立方法

幅56cmタイプ

幅42cmタイプ

幅28cmタイプ

共通

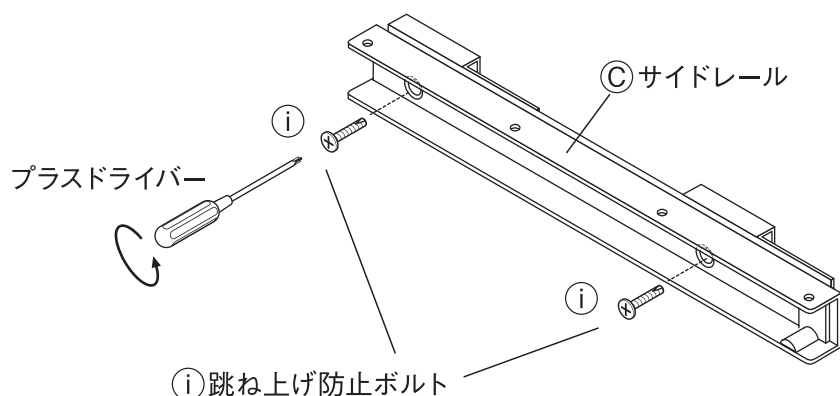


注意

- ❗ 組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
1人では製品破損や製品落下などによりケガをする原因となります。
- ❌ 組み立てには電動工具は使用しないでください。
無理に負荷がかかると、製品破損によりケガをするおそれがあります。
- ❗ 組み立て後、1週間程度経過したら、ボルトを締め直してください。
使い始めはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損、ケガの原因となります。
- ❗ 組み立て、設置の際は、床や既存の家具がキズつかないようにご注意ください。

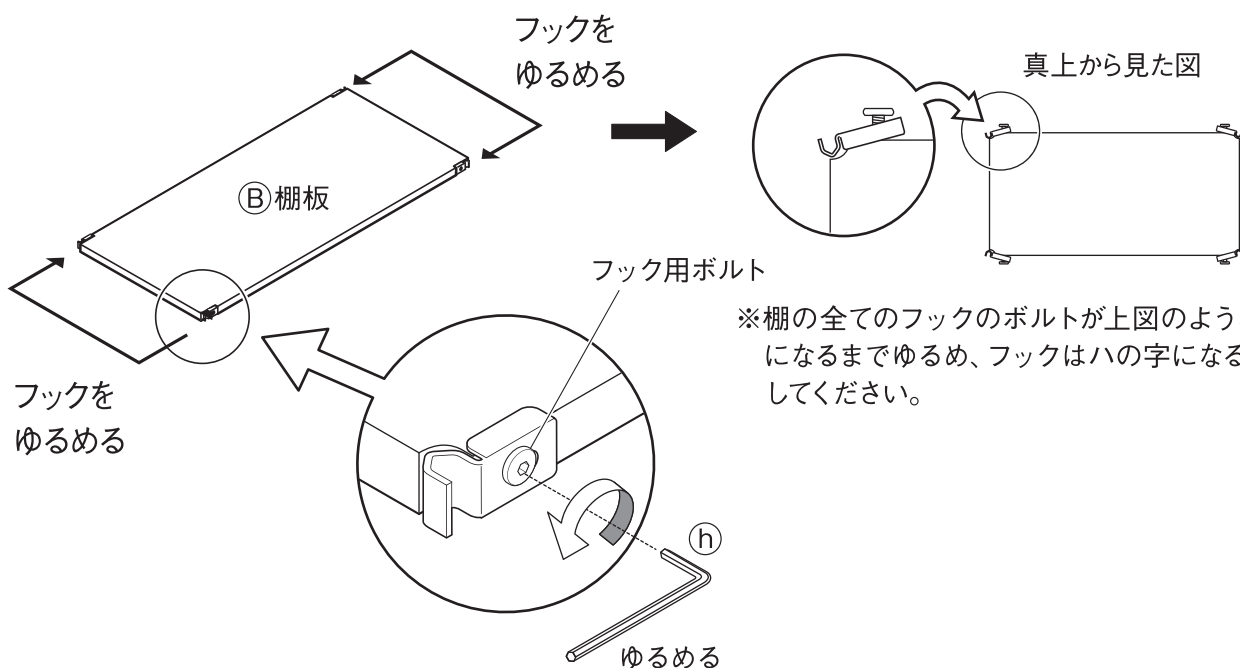
1

◎サイドレールに取り付けてある①跳ね上げ防止ボルトを全て取りはずします。
(※取りはずしたパーツは手順 10 で使用します。)



2

②棚板の四隅に固定されているフック用ボルトをそれぞれ④六角レンチでフックが自由に動く状態までゆるめてください。



幅56cmタイプ°

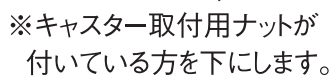
組立

幅42cmタイプ°

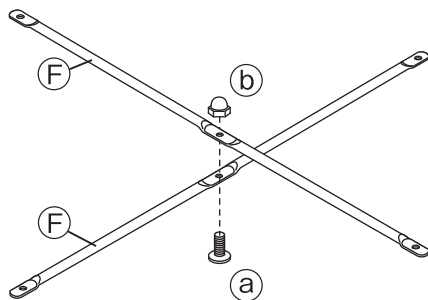
共通

最下段を除く④帆立の横棧に③サイドレールのツメを帆立柱の内側にあてがうようにしてから、コの字側を同じ方向に向けて上からはめ込むようにして取り付けてください。多少きつめになっていますので、上から軽くたたくようにしてください。

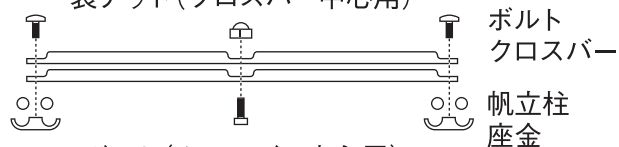
※◎サイドレールには左右がありますので下図を参考に見分けてください。



⑦クロスバーの中心を重ねて⑥袋ナット(クロスバー中心用)と⑤ボルト(クロスバー中心用)を軽く締めてください。



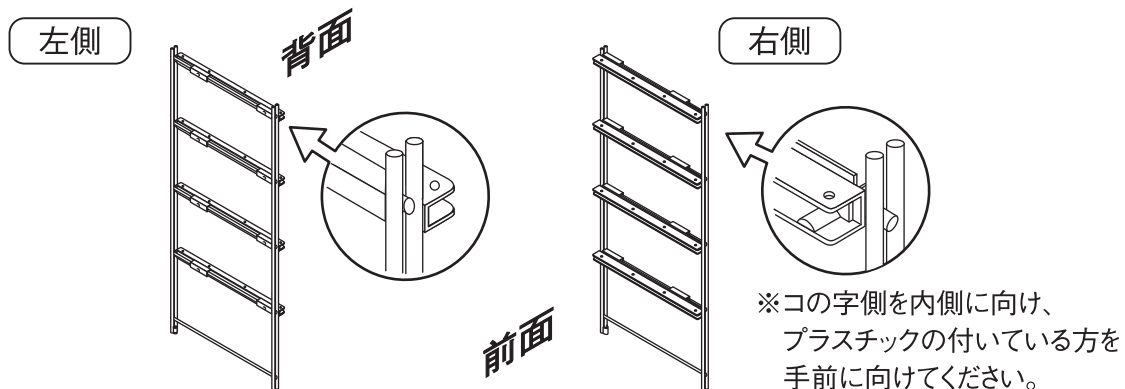
袋ナット(クロスバー中心用)



ボルト(クロスバー中心用)

※それぞれのクロスバーの向きを上図のように重ねてください。平らなほうからボルトを通し、へこんでいるほうを袋ナットで軽く締めます。なお、クロスバーには上下の区別はありません。

③サイドレールを取り付けた2枚の①帆立をコの字側が向きが合うように立てます。



組立方法（つづき）

幅56cmタイプ

幅42cmタイプ

幅28cmタイプ

共通

6

最下段の⑧棚板を取り付けます。

⑧棚板の表を上にして斜めにし、**ポイント①** 前面側のフック2ヶ所をまず④帆立の帆立柱に引っ掛け、**ポイント②** 背面のフックを指で手前に押さえながら、**ポイント③** 帆立柱に引っ掛けて押し込みます。フックのボルトを⑨六角レンチで軽く締めます。（きつい状態から半回転程度ゆるめたくらいにしておきます。）

ポイント①

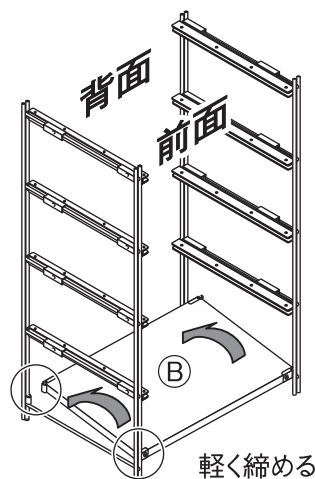
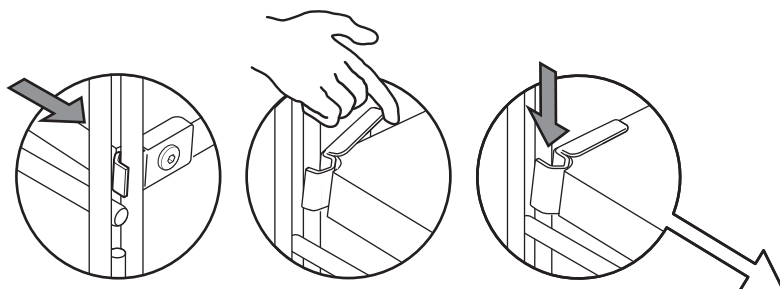
引っ掛ける

ポイント②

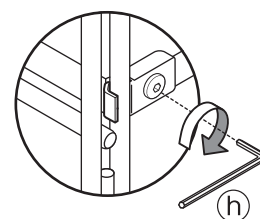
押さえる

ポイント③

押し込む



軽く締める



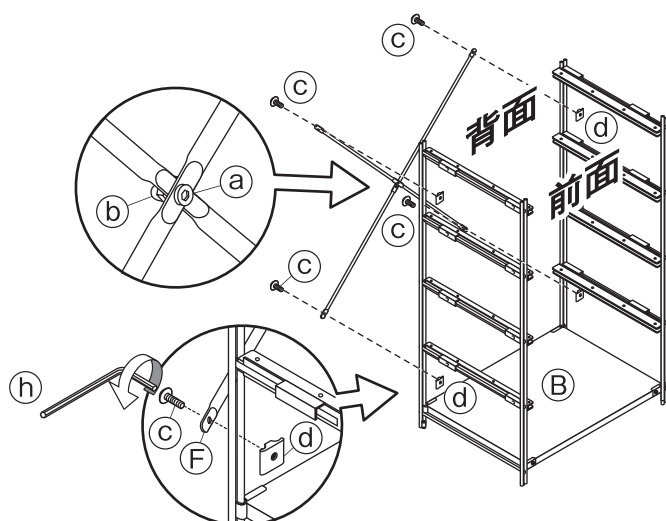
棚板のはめ込み

棚板がはまりにくい状態の時は、棚板上部を軽くたたいて棚板をはめ込んでください。それでもはまらない場合は、全体的にもう少しフックをゆるめるようにすると、はまりやすくなります。

7

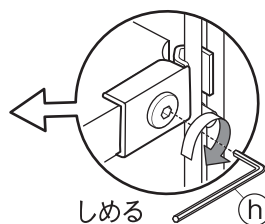
⑧棚板を④帆立にはめ終わったら⑧棚板の四隅に固定されているフックのボルトを、前面、背面と交互に⑨六角レンチを使って少しずつ締めてください。手順4で組み立てたクロスバーを、背面から⑩座金と⑪ボルトで④帆立に⑨六角レンチを使って軽く固定します。

※⑩袋ナットが外向きになるように取り付けます。



お願い(その他 注意)

棚板のフックのボルトは、前面、背面と交互に少しずつ締めるようにしてください。1ヶ所きつく締めてしまうと棚がゆがんで装着され、最後のフックが締めにくくなります。



しめる

組立方法 (つづき)

幅56cmタイプ

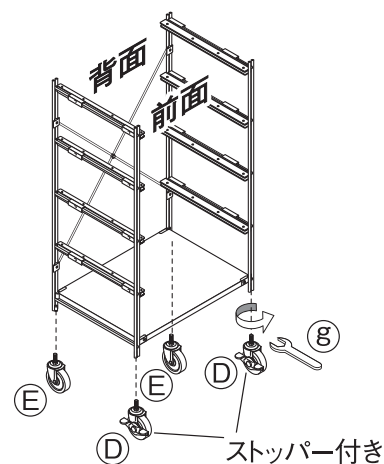
幅42cmタイプ

幅28cmタイプ

共通

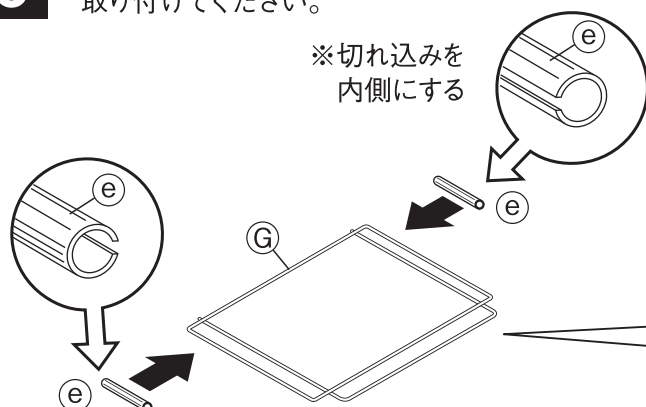
8

- ④帆立の脚部に⑤、⑥キャスターを付属の⑧スパナで取り付けます。
⑤キャスター（ストッパー付）が前面になるように取り付けてください。

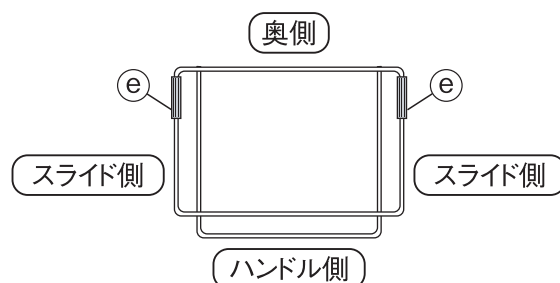


9

- ⑦スライド用チューブを⑥バスケットフレームの下図の位置に取り付けてください。



※⑦スライド用チューブは必ず⑥バスケットフレームの奥側の両サイドに取り付けてください。

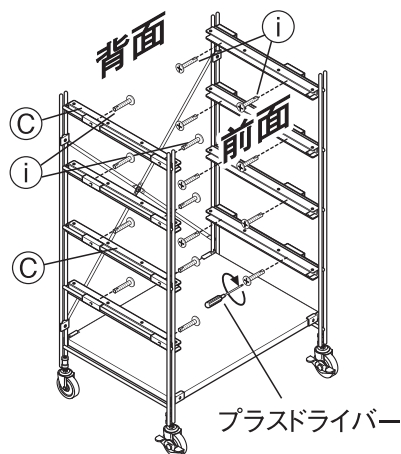


注意

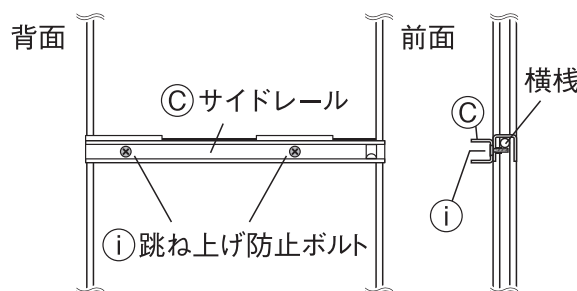
- ① ⑦スライド用チューブは冷たくなっていると硬化してワイヤーにはめ込む際に、割れてしまうおそれがあります。冬季中の配送やお持ち帰り直後は冷たくなっている場合がありますので、チューブは部屋の中で30分程放置してからのはめ込んでください。

10

- 帆立の横横に取り付けた③サイドレールに、手順①で取りはずした①跳ね上げ防止ボルトを取り付けます。



跳ね上げ防止ボルト取り付け位置

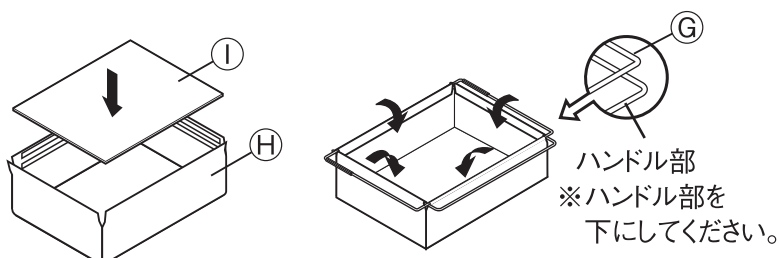


注意

- ① ①跳ね上げ防止ボルトは③サイドレールと段差が無くなるまで、しっかりと締めてください。ボルトの頭が出ていると、ワイヤーバスケットの開閉がしにくくなる原因となります。

11

- ④帆布バスケットに①底板をはめ込み、④帆布バスケットの面ファスナーの部分を⑥バスケットフレームの外から内へ巻き込むように4辺とも固定してください。



正面から見た図

スライド用チューブ側が上

G

ハンドル側が下

※イラストには、幅56cmタイプを使用しています。

組立方法 (つづき)

幅56cmタイプ

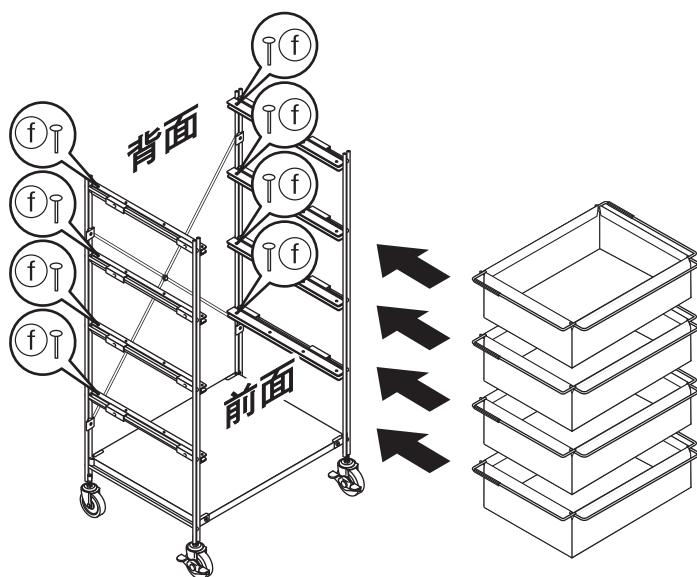
幅42cmタイプ

幅28cmタイプ

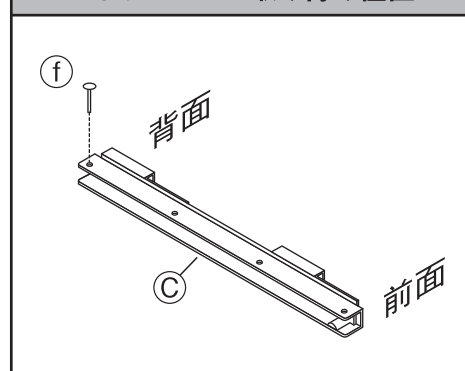
共通

12

①ストッパーピンを③サイドレールのそれぞれ1番奥の穴に4段とも差し込みます。
次に最下段から順に、手順11で組み立てた帆布バスケットを差し込みます。

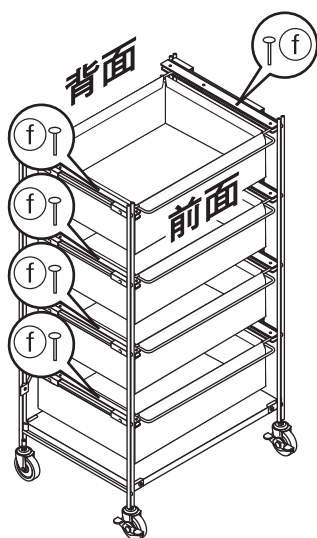


ストッパーピン取り付け位置

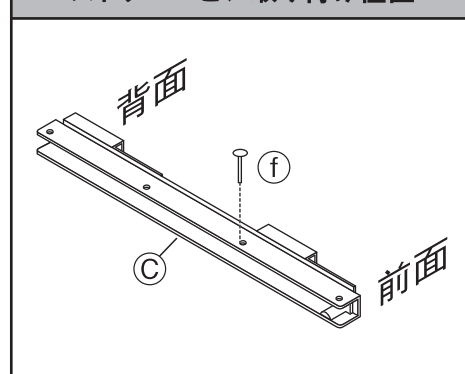


13

④帆布バスケットをセットしたら①ストッパーピンを左右の③サイドレールのそれぞれの奥から3番目の穴に4段とも差し込みます。



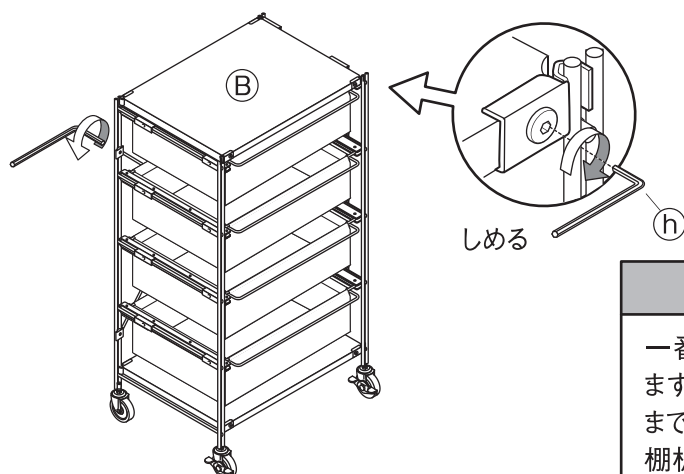
ストッパーピン取り付け位置



14

①ストッパーピンを確実に差し込んだら、最上段に②棚板を手順6と同じ要領で④帆立にはめ込み、
⑤六角レンチで締め付けて固定してください。

最後に②棚板のフックのボルトとクロスバーの③ボルトを⑤六角レンチでしっかり締め付けます。



棚板のはめ込みのポイント

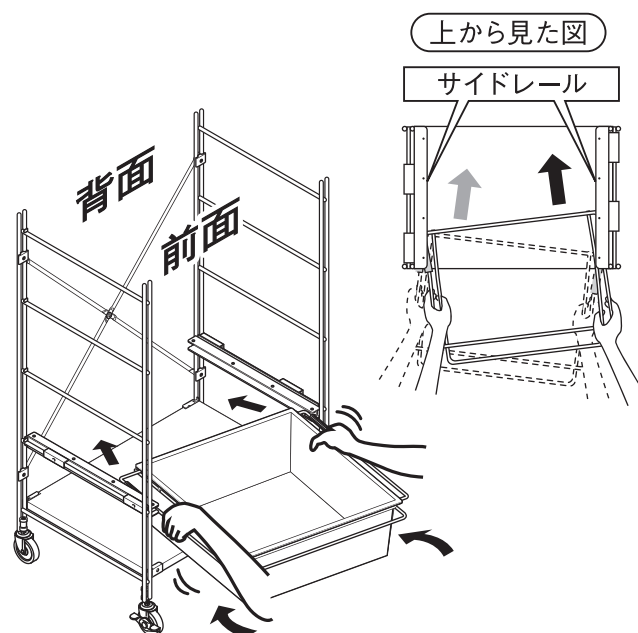
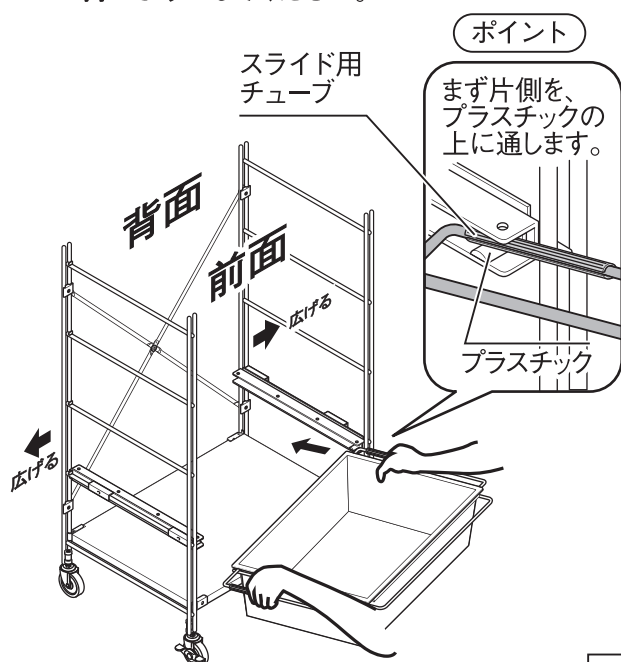
一番上の棚板がはめにくくなっていることがありますので、その場合は手順2の図のようになるまでフックをゆるめ、手順6のポイントになって、棚板をはめ込んでください。

お願い(その他 注意)

バスケットの差し込み方

※バスケットが差し込みにくい場合は、
下図のようにして差し込んでください。

- ① 左右の帆立を外側に広げながら下図のようにバスケットをサイドレールに差し込みます。
その際スライド用チューブがずれたり、外れたりする場合がありますので、必ずスライド用チューブの部分を持つようにしてください。
- ② 下図のように左右のスライド用チューブの部分を手にぎって、外側のワイヤーが少し内側に反るようにして、バスケットを左右交互に差し込んでいきます。

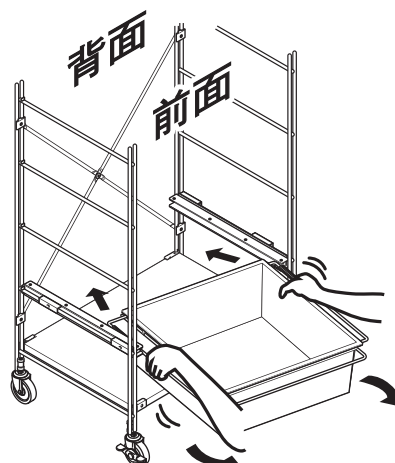
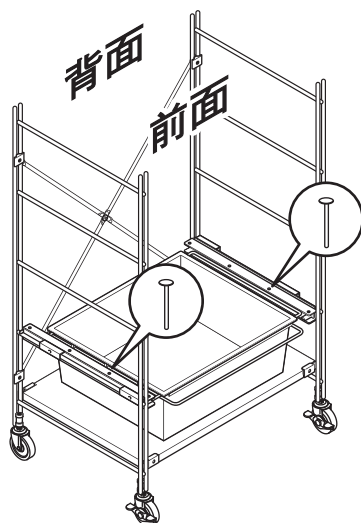


※上記の方法で差し込みにくい場合は、全ての棚板のフックをゆるめてから①②の工程を行ってください。

バスケットの取り出し方

※バスケットを取り出す際は、
下図のようにして取り出してください。

- ① 前面側のストッパーピンを取りはずします。
- ② フレームを手でにぎって、外側のワイヤーを少し内側に反るようにして、バスケットを左右交互にふりながら引っぱり出します。

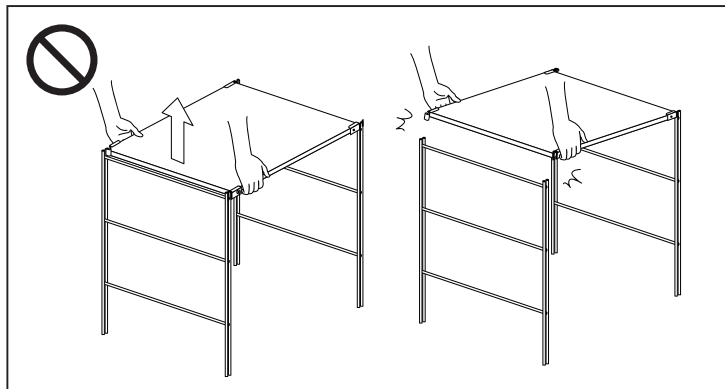


ご使用方法（つづき）

【移動について】

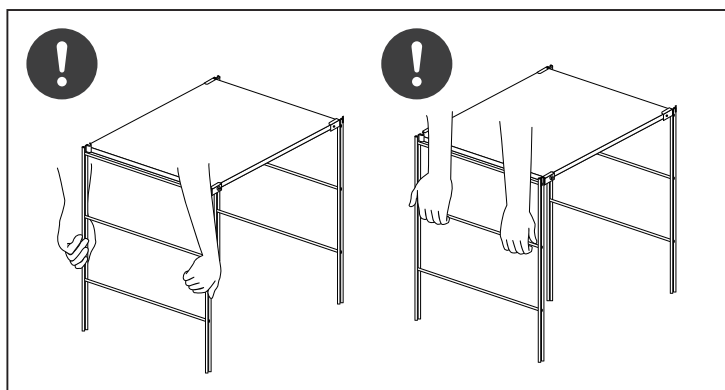
〈組み立てた状態で動かす場合〉

- 棚板を持って、持ち上げないでください。
棚がはずれて物が落ち、思わぬケガや器物破損の原因となるおそれがあります。
組立後の移動は必ず収納物を取り除いてから2人以上で左右から帆立部分をしっかりと持って移動してください。
- 床面を引きずったり、押したりしないでください。
床面のキズや破損の原因となるおそれがあります。



〈引越しなどで運ぶ場合〉

- 引越しなどで移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。
(パーツがはずれてケガや製品が破損する原因となります。)



廃棄について

- 廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

- 破損、変形した状態では使用しないでください。
- 金具類は、ゆるみやグラツキがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだままだとガタツキや異常音の発生などの故障の原因となります。また、ケガや破損、床面のキズの原因となります。

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。
- 汚れがひどい時は、3～5%程度に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤をよくふき取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽くふいた後で自然乾燥してください。

製品仕様

品 名	スチールユニットシェルフ 帆布バスケットセット ・幅56cmタイプ・ライトグレー	スチールユニットシェルフ 帆布バスケットセット ・幅42cmタイプ・ライトグレー	スチールユニットシェルフ 帆布バスケットセット ・幅28cmタイプ・ライトグレー
J A N	4550002999209	4550002999193	4550002999186
製品寸法	幅585×奥行430×高さ875 (mm)	幅445×奥行430×高さ875 (mm)	幅305×奥行430×高さ875 (mm)
製品質量	約19 kg	約16 kg	約12.5 kg
用 途	収納家具		
耐 荷 重	バスケット1つあたり約5 kg		
材 質	帆立・棚板・クロスバー：金属(鋼) 表面加工：エポキシ樹脂粉体塗装 バスケットフレーム・サイドレール：金属(鋼) 表面加工：エポキシ樹脂粉体塗装 スライド用チューブ：ポリプロピレン 帆布バスケット：ポリエステル、綿 底板：MDF		

Made in Taiwan

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ

 **0120-14-6404**

S1Y90114